



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造いメール

第278号 2025年5月号

SINCE 2002.4.1.

Oppajimail

♪Now And Then「おっばじメール」その②

平成13年に発行された「追浜ふるさと写真集」（追浜地域文化振興懇話会）の写真を現在、未来（再開発）と比較しつつ、戦争に翻弄されながら発展していった追浜の歴史を振り返ります。



写真には以下のような説明が添えてあります。

『空からの旧飛行場 昭和27年頃。まだ横須賀海軍航空隊、同追浜飛行場、第一海軍航空技術廠の施設の殆どが、そのまま残されていました。飛行場跡は米軍兵器廠となり、他の施設には日本企業が進出しました。』

国道357号は、八景島から日産自動車追浜工場に沿って野島水路に道路が造設され、夏島交差点までの全長2.3kmが延伸される予定です。この計画は昭和63年に都市計画決定されましたが、その後未整備のまま現在に至っています。

車の流れと潮の流れを大きく変えるプロジェクトです。

（すまい造いメール第268号参照）



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. **Next100**

横須賀市の住宅設備改良費助成制度を利用した住宅改修工事を担当させていただきました。工事内容について説明させていただきます。

門扉から玄関までのコンクリートの階段をスロープにする工事です。デイサービスなどで外出する際に少しでも安全にかつスムーズに移動ができ、ヘルパーさんたちの仕事がやりやすいようにしたいというご要望です。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」



工事中は脇のフェン

スを一旦取り外し、石段を設けて、出入りしていただきました。良い天気が続いたのでコンクリートの乾きも早かったです。



「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。

ローカルニュース
地域情報

三浦半島周辺で開催されるイベントや地域情報等を紹介します。

◆7才の交通安全プロジェクト

こくみん共済coop〈全労済〉では「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」という思いから子どもも大人も運転する人もしない人も交通事故のない暮らしを目指し取り組んでいます。

小学生になり友だちも増え、行動範囲もぐっと広がる7才児は、他の年齢に比べて突出して交通事故に遭いやすいというデータがあります。大人に比べて目線が低く、視野も狭く、また注意力もまだ育まれていないことが要因のようです。

歩行中の交通事故 死傷者数（令和5年）



一人ひとりが交通安全の意識を広げるためにさまざまなコンテンツを公開しています。

「私のまちの7才の交通安全ハザード」では、自分の街で過去に交通事故が起きた場所などを紹介しています。



こくみん共済の公式HP
<http://www.zenrosai.coop>



思い過ごしもコイのうち

春は出会いと別れ、そしてステップアップの季節です。

東京の目黒に「公益財団法人目黒寄生虫館」があります。医学博士亀谷了氏（かめがい・さとる1909-2002）が私財を投じて、1953年に創設した寄生虫学専門の私立博物館です。館内にはサナダムシやアニサキス、エキノコックスなど国内外から集められたちょっとインパクトのある約300点の標本及び関連資料が展示されています。

創設者である亀谷博士が特にお気に入りだったのがフタゴムシです。寄生虫館のロゴマークにもなっていて、「2匹が出会ったら二度と離れない」という寄生虫です。プラナリアと同じ扁形動物の仲間で、雌雄同体の1cmほどの寄生虫です。卵からふ化した幼生はフナやコイの鰓（えら）に到達し、吸血して成長しますが、発育が途中で止まってしまう成熟できません。そこから先がこの寄生虫の変わったところで、合体する相手を探して鰓の上を徘徊し始めるのです。運よく相手が見つかり、お互いに中央背側にある突起を相手の腹側にあるボタン穴にはめ込みます。すると、2体が癒合（ゆごう）し始めます。フタゴムシは哺乳類と違って、同種なら自分以外でも異物として拒絶されません。驚くべきことに、その後は互いの消化系、神経系もつながってしまいます。こうなってしまうと、ひとつの生命体といってもよいでしょう。生殖系では、卵巣から出た管が相手の輸精管に接続します。自らの卵を相手の精子によって受精させるわけです。一種の他家受精ですが、複数個体と精子のやり取りはできません。未熟のときに会った相手と文字通り一体化して一生を過ごすのです。おそらく出会いの確率は低く、相手を選び好みする余裕はないのでしょう。

フタゴムシの習性を「一途な愛」と感じるのは、人間の思い過ごしかもしれません。

（参考資料「月刊クリネス2017年8月号」）



よこすか近代遺産ミュージアム
ティボディエ邸



ミュージアムには、小屋組みを移設した実物展示のほか、日本近代化の礎となった横須賀製鉄所の歩みなどが展示されています。

9:00~17:00 年中無休
詳細につきましては施設にお問い合わせください。 ☎046(822)9478



よこすか文学館

【113】

横須賀が登場する文芸作品（マンガも含む）や横須賀に縁のある文学者を紹介します。

池波正太郎『青春忘れもの〔増補版〕』（中公文庫）

池波正太郎（1923-1990）は『鬼平犯科帳』『仕掛人・藤枝梅安』などで知られる時代小説家。この本には、池波の回想記（1968年当時）と短編小説「同門の宴」、インタビュー「池波正太郎の〔青春・小説・人生〕」が収載されています。

池波は戦時中、海軍に召集され、「海軍ハロー空」「終戦」の章によれば、1944年2月横須賀海兵団に入団、ついで武山海兵団で新兵教育や「自動車・講習員」の訓練を受け、その後は内地の他の基地に移り、終戦は鳥取県的美保航空基地で迎えました。応召解除時の階級は二等兵曹。

上官の理不尽な暴力や物資に関わる不正、尊敬できる上官との出会い、「海軍に入ったくせに、外出に香水もつけんのか!!」とどなられ殴られ、香水2瓶を渡されたというエピソードなど、軍隊生活の様子が描かれています。



（洗足学園中学高等学校教諭 中島正二）



「よこすか文学館」のシンボルマークは芥川龍之介の小説「蜜柑」が由来です。文学碑はその舞台となった踏切の近くの吉倉公園にあります。



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2025」A-9歩ZONE版（永久保存版）を（Blog「Oppamap2025」より）ダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索